

## 中ア 中御所谷

08年8月27日

└三井、松田、吉田（駒峰）

2泊3日で白山の大畠谷の予定だったが、  
天気が芳しくなく、中川村の吉田邸で2日間ご  
ろごろして、ようやく晴れた最終日に近場の中  
御所谷に行くことにした。駒ヶ根の駐車場まで3  
0分足らず、驚異的な近さである。始発バスに  
乗り、終点の駐車場からしばらく山道を歩いて  
いくのであるが、三井さんがサンダルのままど  
んどん行ってしまいますので、私も仕方なくビー  
サンで続いたが、普通こういう道は履き替えるよ  
な、と思いつつ 15分くらい歩くと正面が滝に  
なって道が終わる。沢支度をして、最初の滝に  
取り付く。リードはこの沢3回目の三井さんで、  
右のジェドル状から登るが少し悪い。続く2  
段目もリードをお願いする。久々の滝登りで我  
ながら動きの鈍いのがよく分かる。滝上に上が  
ると、ロープウェイが音もなく現われた。ここ  
で落ちると格好悪いね、と話していると後続パ  
ーティが来た。続く2番目の大チョックストーン  
滝は全く登れそうもないので、巻きかと思ひ三  
井さんの方を見ると滝の右側を指差している。  
えーっと驚いて滝下に行くと、確かに右壁に残  
置があるが、非常に悪そう。ここも三井さん  
にお願いするが、上の方の根の浮いたブッシュ  
を掴んでの登攀は非常に悪かった。後続パ  
ーティは右から巻いて滝上に懸垂で降りたよう  
で、ここから彼らが先行する。傾斜の緩い10m  
前後の滝が続くが、いずれも容易に登れる。両  
岸がゴルジュ上になると、またチョックストーン  
滝が現われ、これは右からザイルを出して巻  
いた。しばらく行くと登れそうもない連瀑が  
続き、左から小さく巻いて懸垂で降りる。こ  
こで先行パーティに追いつき、しばし話を  
して「さわぐるみ」の3人パーティであることを  
知る。(hpに面白い漫画がある…)

その上の30m滝はどこから登るのが、考  
えてしまうような滝。右が容易そうだが、し  
ぶきがすごくとも寒そうだ。左の枝沢から  
は楽に巻け

そうだが、正面のつるつとした壁にも良  
く見ると残置がある。三井さんリードで、  
中間の悪そうな凹角の入り口は、フレン  
ズにシュリングを掛けてアブミ代わり  
にし、その上の浮いたブッシュの多い  
中を20mほど伸ばして終了。さら  
っと登ってしまったので行ってみると、  
ここの登攀もかなり悪く感じた。さわ  
ぐるみパーティは右の壁から登って  
いたが、ビレイの女性は滝の飛沫で  
ひどく寒かったようだ。ここを越  
えれば核心は終了し、沢は源頭の  
雰囲気となる。

100mのナメ状大滝を越え、階段  
状の沢を詰めていくと、ぽっかり千  
畳敷カールに出た。さわぐるみパ  
ーティと前後してカールの中を進  
み、ロープウェイの駅に出る。冬  
合宿のトレーニングでここに来た  
のは4、5年くらい前のことだが、  
あの時のメンバーはもう会に  
残っていない。

そのままの格好ですぐにロー  
プウェイに乗って、観光客に多  
分変な目で見られつつ、帰路  
に着く。

吉田邸に寄ったら、空木の駒  
峰ヒュッテの小屋管を終えた  
真弓さんがカレーをご馳走  
してくれた。昨夜は誰もお客  
がいなくて、心細かった  
そう。

美味しいカレーをいただき、  
中川村に後る髪を引かれ  
ながら帰路についた。

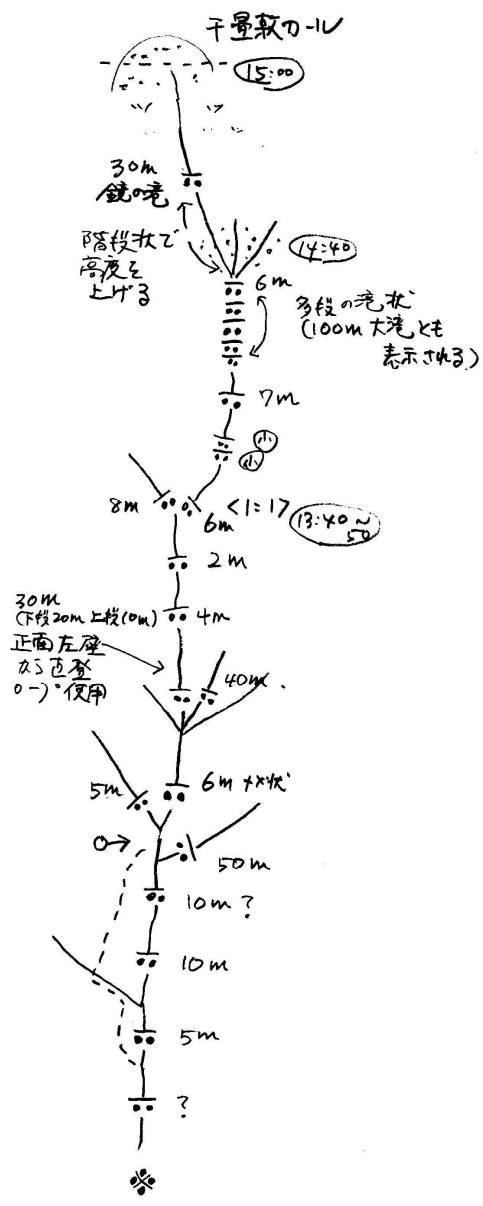
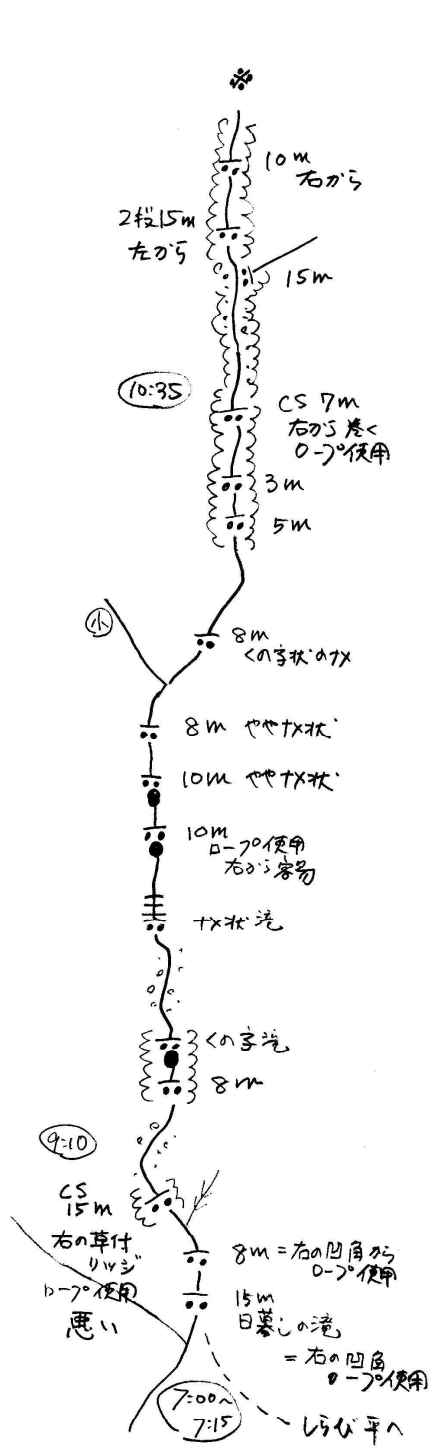
今回、中御所谷はもう少し  
楽に登れる沢かと思った  
が、沢をさぼっているせい  
か難しく感じた。三井さん  
はさすがで、まったく年を  
感じさせず、相変わらず過  
激だ。吉田さんも奥さんと  
年中山に入っているせい  
か、さほど苦労しないで  
登っていた。大畠谷はもう  
少しトレーニングをして  
から行くべきだなと思  
った。

(松田記)

・コースタイム

入溪(9:10)-チョック  
ストーン滝上(10:35)  
-上部二俣(13:40)-  
100m大滝上(14:40)  
-千畳敷カール(15:00)

・地形図 木曾駒ヶ岳



08. 8. 31  
中央アルプス / 中御所谷